



津田左右吉物語③

東京専門学校入学と得業(卒業)

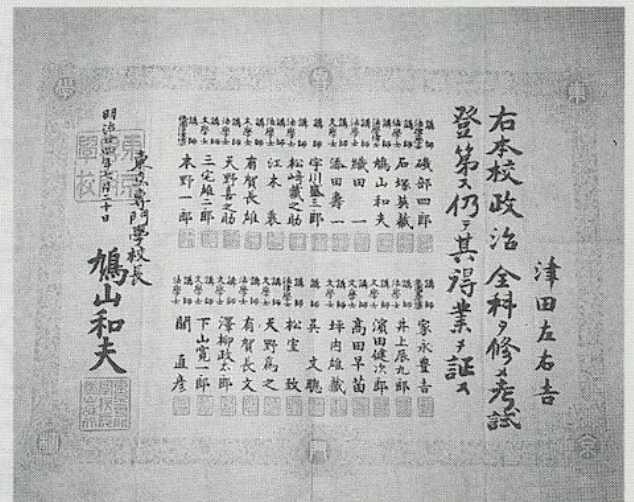
明治19年、13歳のとき文明小学校を7年で卒業し、この年の秋、名古屋に出て英語と数学の私塾に学び、15歳で大谷派普通学校（現名古屋大谷学校）へ入学しました。

さらに向学心に燃えた左右吉は、在学1年弱で中退し、東京専門学校の校外生となり、その講義録を読みはじめました。

17歳で東京専門学校（現早稲田

大学）邦語政治科2年の編入試験に合格。試験6科目のうち国家論では満点を取り、トップの成績でした。明治24年7月には優秀な成績で卒業し、第8回得業証書授与式で優等賞状と賞品（大隈重信夫人授与）を受けました。

東京専門学校あさの同窓生には、朝が河貫一（米国で文学博士取得）がいます。日本の封建時代を欧米に紹介し、ダートマス大学教授となり、アメリカで有名になった歴史学者です。



▲津田博士の得業証書